



令和2年度

渋谷区立神宮前小学校

令和 2年 5月 8日

神小スマートスクール経営方針

校長 手代木 英明

1 はじめに

渋谷区は、オンラインの学習環境が整っている恵まれた地区です。私たちは、渋谷タブレットとあらゆる情報伝達手段を活用して学校と家庭をつなぎ、教室以上の教育成果を上げることができるよう、教材研究とオンライン上での指導・評価方法の改善に取り組んでいきます。神宮前小学校は、オンライン上でも「児童が主体性を発揮し」「保護者・地域に信頼される学校」目指して、教職員一同全力で取り組みます。本校の全ての教育活動は、子供の成長のためにあります。そして教育目標の具現化のために実施していきます。従って、「子供のためになるのか（子供ファースト）」を判断の根本にします。

2 「神小スマートスクールの子」育成計画

(1) 神宮前小学校の在宅オンライン学習の歩み

神宮前小学校は、平成29年度（2017）から「いつでもどこでも使えるタブレット」が渋谷区より一人1台貸与されました。また、「小学校英語教育モデル校」に指定され、「外国語活動（英語活動）」の授業研究を中心に授業改善を進めながら、ICT活用教育の実践を積み重ねてきました。

電子教科書を用いた授業が普通になり、教室でのアプリの活用やインターネットで検索する活動ができるようになってきたところで、新型コロナウイルス感染症予防対策として令和2年3月からの第1期臨時休業措置が突然始まりしました。子供が、一人で進めるオンライン学習に対する準備が整っていない状況でスタートしたため、タブレットの稼働率は伸び悩みました。令和2年4月からの第2期の臨時休業措置においては、学校ホームページと渋谷区教育委員会メールを用いた保護者への情報伝達が円滑になり、家庭でのオンライン学習が前進しました。5月に入ってから、教職員のテレワークの要請にも応えながら、在宅学習の仕組みづくりとオンライン教材開発と評価方法の改善に全力で取り組んでいます。

(2) オンライン環境で生き抜く神小の子を目指して

今年度から、新学習指導要領による教育が始まります。主体的・対話的で深い学びを実現するために、オンライン学習では、「一人でできる。」主体性に重点を置いて、オンラインの授業改善を進めていきます。また、神宮前小学校は、「コミュニティ・スクール」として、ICT活用の知見を有した保護者や企業・関連機関などと連携した教育活動を進めていきます。

令和2年4月 ホームページや学習用ファイルサーバーから教材を取得できる。

学習は、「自分で課題をつかむ」ことが前提です。まず、「学び方を学ぶ」ためにマニュアルを読み取る力が必要です。親子で一緒にマニュアルを読み、指示を理解して、着実に実行する経験を重ねることから、子供の自主性と思考力が育ちます。オンラインの指示をしっかりと理解し、これから何をするのか、どう行動したらよいか、「自分で自分のやる事が決められる子供」を育成します。

令和2年5月 学習用ファイルサーバーを用いて、情報のやり取りができる。

子供たちの情報発信力を高めていきます。どんなに良い考えをもっている、表現することができなければ、伝わりません。オンライン上での情報発信方法を学年に合った方法でできるようにし、担任とのやり取りや学級での意見交ができるようにしていきます。

令和2年6月～与えられた課題だけでなく自分から進んで学ぶ子を育てる。

新型コロナウイルス感染予防の取り組みは、長期化が予想されます。オンライン学習に慣れた子には、「自ら課題を見つけ、探究活動ができる子」の育成を目指し、指導と評価をしていきます。

3 本校の教育目標

国際色豊かな地域性を生かし、生命尊重・人権尊重の理念を基盤として、児童が友達、教師、地域の人々との出会いやかかわりを大切しながら、楽しく真剣に学べる学校づくりを目指す。また、知・徳・体の調和を目指し、確かな学力を育成するとともに、日本の伝統・文化を尊重し、健康な心と身体を養い、広く国際社会に貢献することのできる心豊かでたくましい、未来社会の形成者を育成する教育を推進する。

- 自ら考え高め合う子 オンライン学習では「自ら考える子」を重点目標とする。
- 進んで実行する子
- 健康で心豊かな子



【オンライン学習の教育目標達成に向けての基本方針】

- ☆ オンライン学習に適した授業づくりとカリキュラム・マネジメント
 - ・ 年間指導計画の中でオンライン学習に適した内容を集中的に実施するカリキュラム・マネジメント
 - ・ 情報収集・情報発信・活用能力の育成⇒**国語科の「情報の扱いに関する事項」を重視する。**
- ☆ 子供の生命・安全、心と体の健康を第一に進める体制づくり。
 - ・ 子供の安心・安全を最優先に考え、学校施設を有効利用し、感染予防を重視した教育活動を行う。

4 経営の重点

- ① 児童の在宅学習と教職員の在宅テレワーク化を進め、感染症予防対策を最優先する。
 - ・ 渋谷区「学習用ファイルサーバー」と「校務用ファイルサーバー」を最大限活用する。
 - ・ 保護者が児童の健康観察を行い、記録カードへの記入をお願いし、ホームページ上の健康観察フォームでの報告を基に児童の健康状態を把握する。1週間報告のない家庭には、電話で確認を取る。
 - ・ 学校が再開され、新型コロナウイルス対策が一段落するまで、毎日、健康記録カードの提出をさせ、登校児童の全員の健康が確認された状態で授業を開始する。
- ② コミュニティ・スクールとして、保護者・地域とともに教育を進める。
 - ・ 「学びたくなるオンライン学習づくり」⇒魅力あるオンライン教育ができるような教員研修の充実。
 - ・ 「ファイルサーバー」と「コラボノート」の効果的な活用。新ICTシステムへの円滑な移行。
- ③ ICT活用教育の推進と一人1台タブレットの効果的な活用
 - ・ 「神小カリキュラム」にタブレット活用スキルと情報モラルを明記し、系統的な指導を行う。
- ④ 生活指導の充実
 - ・ 「時間を守る子」を目指し、毎朝タブレットを開き午前中は学習する習慣を身に付けさせる。
 - ・ 家で「自分でできる子」を目指し、ファイルサーバーや電話で親子に働きかけていく。
 - ・ 「情報モラルが守れる子」を育むために、具体的な事例を基に親子に指導していく。特に、悪口や人権侵害に当たる言葉を書き込ませない。なりすましの書き込みをさせない。
- ⑤ 特別支援教育、日本語教育の充実
 - ・ 日本語学級や特別支援教室「かやのき教室」との連携をする。
- ⑥ 職務に対してコスト意識をもつ
 - ・ 期日と時間を守り全職員が効率の良い仕事をし、働き方改革を進める
- ⑦ 放課後クラブとの連携強化
 - ・ 放課後クラブと経営方針を合わせて、オンライン在宅学習を放課後クラブで保証する。

5 おわりに

「自ら学ぶ者だけが他を導くことができる。」これは私の信条です。

子供たちに最新のオンライン学習に挑戦させるには、まず、教員が使えなければならないとも思います。私たちは、21世紀のプロ教師としての使命感を自覚し、子供たちがオンライン上で自ら伸びようとする力をさらに伸ばし、その子の個性を開花させていきたいと考えます。全校を挙げて、子供を心から慈しみ、共に学び、共に助け合って生活する、いきいきとした神宮前小学校でありたいと考えています。